



第144期
事業報告書

平成15年4月1日から
平成16年3月31日まで

日本電池株式会社

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび第144期(平成15年4月1日から平成16年3月31日まで)の決算を行いましたので、ここにその概要をご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、長引くデフレ、公共投資の低迷等の影響により足踏み状態にありましたが、期央以降、輸出の増加に加え民間設備投資も増加に転じ、復調の兆しが見られるようになりました。このような経営環境のもとで、当社は総力を挙げて売上の拡大、新技術・新商品の開発等に取り組んでまいりましたが、競争激化の影響等により、売上高は771億8千4百万円と前期に比べ6億4千8百万円(0.8%)の減少となりました。

利益面につきましては、抜本的な経営の建て直しを図る「事業再構築計画」に基づき、希望退職者募集をはじめとした人件費全般の削減や合理化、調達コストの引下げ等、あらゆるコストダウンと営業力強化のための諸施策を推進してまいりました結果、営業利益は21億8千9百万円(前期は3億2千5百万円の営業損失)、また経常利益は14億8千1百万円(前期は1億3千8百万円の経常損失)となりました。

特別損益につきましては、藤沢工場跡地の流動化や固定資産売却益を特別利益として計上し、また、固定資産の除却や株式会社ユアサ コーポレーションとの統合に伴う諸費用等特別損失が発生しました。以上の結果、税効果会計適用後の税引後の当期純利益は25億8千5百万円(前期は6億3千2百万円の当期純損失)となりました。

当期の利益配当金につきましては、競争の激化により売上高では前期に比べて減少いたしました。が、「事業再構築計画」に基づく対策を推進してまいりました結果、営業利益、経常利益、当期純利益が前期に比べて大幅な改善となりました。それにより、当期の利益配当金は1株あたり4円に復配させていただきたく存じます。

一方、当期の連結業績につきましては、ジーエス・メルコテック株式会社の株式を売却したことにより連結対象子会社から外れた影響で、売上高が前期比で大幅に減少しましたものの、上記当社業績の回復により、売上高1,040億7千1百万円(前期比20.9%減)、営業利益28億8千4百万円(前期比19.0%増)、経常利益29億3千6百万円(前期比15.0%増)、当期純利益37億1千万円(前期比206.5%増)となりました。

今後の見通しであります。世界的な景気回復を背景に、国内景気にもようやく明るい兆しが見え始めておりますが、一方で、イラク問題、為替の変動や、原油、素材価格の高騰等の不安定な要素を抱えた状況が続くものと予測されます。こうした中で、当社は平成16年4月1日に株式会社ユアサ コーポレーションとの経営統合を果たし、持株会社として株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーションを設立するに至りました。統合初年度にあたります平成16年度は、両社の事業再編をはかり、速やかに統合による効果を実現していくことが最重要課題であると考えております。

平成16年度は目標とする利益を確保すべく、①統合後の新事業体制へのスムーズな移行、②統合再編に伴うスリム化と効率アップ、③海外事業の拡大による収益の増強、以上の各テーマに対する取組みの強化を図ってまいります。

今後とも統合新会社への一層のご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成16年6月



代表取締役社長
村上 晨 一 郎

営業の概況

鉛蓄電池部門

売上高は434億7千6百万円と前期に比べ28億7千7百万円(6.2%)の減少となりました。このうち、自動車用電池におきましては、新車用は自動車生産台数の増加により前期を上回りましたが、補修用は冷夏・暖冬による総需要の減少と価格競争の影響を受け前期を下回りました。また、産業用電池におきましては、フォークリフト用電池は新車用の需要が回復傾向にあり、前期並みを確保することができました。据置用電池は官民ともこの分野での設備投資が低迷したものの、営業努力により前期並みを維持しました。一方、小型鉛電池は前期を下回りました。

その他電池部門

大型リチウム電池の増加等により、売上高は41億7百万円と前期に比べ2億9千7百万円(7.8%)の増加となりました。

電源装置部門

据置用鉛電池と同様、この分野での設備投資の低迷により、売上高は81億9千6百万円と前期に比べ4億1千2百万円(4.8%)の減少となりました。

照明器部門

施設照明における新型ランプの販売増加に加え、遠紫外線応用光源装置の半導体・液晶分野での市況好調により、売上高は129億1千7百万円と前期に比べ17億8千6百万円(16.1%)の増加となりました。

その他部門

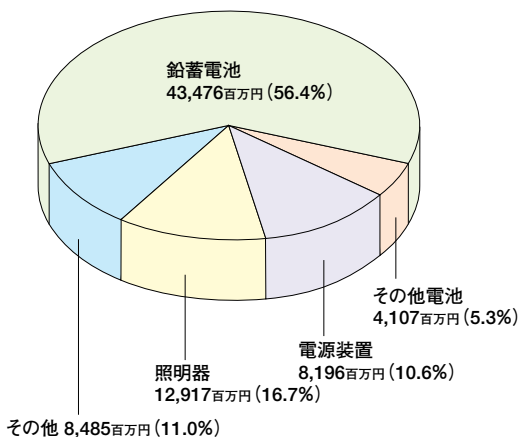
前期に引き続きデジタルカメラ向け小型充電器が大幅に伸張しました結果、売上高は84億8千5百万円と前期に比べ5億5千7百万円(7.0%)の増加となりました。

輸 出

プラント輸出および小型鉛電池の製品輸出の減少により、輸出総額は47億4千8百万円と前期に比べ2億1千6百万円(4.4%)減少しました。

当期部門別売上高

合計77,184百万円



株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーションの本社所在地、ロゴマークを決定

当社と(株)ユアサ コーポレーションは持株会社「株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション」(平成16年4月1日設立)の本社所在地とロゴマークを決定しました。

本社は京都市下京区と東京都品川区に置きます。

ロゴマークはグリーンとオレンジの2色から成り、この組み合わせは緑の大地や木々に花が咲くように、美しくダイナミックに変化していく様子や成長をイメージしています。

また、ロゴマークを構成する円弧と直線は商品やサービスを通じてお客さまとの信頼関係を創造する新会社の顧客志向・企業姿勢や企業理念である『革新と成長』を表しており、「社会とのつながりをより強くしていくために、私たちはお客さまとともに進化するエネルギーと、その遠心力をもってさらに世界に大きく飛躍しつづけたい」という願いも込められています。



株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

GS Yuasa Corporation

アイドリングストップ配 送車両対応バッテリー 「HDPシリーズ」に 1機種2タイプを追加

平成15年11月にアイドリングストップを頻繁に繰り返す配送車両に対応したバッテリー「HDPシリーズ」に、運送業界で特に増加が著しい特装車や冷凍車に対

応したサイズを追加発売しました。従来の「HDPシリーズ」と同様に配送車両に最適な製品設計を施し、当社従来品比で1.6倍の長寿命を実現しています。

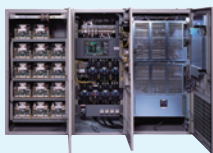


業界初、リチウムイオン 電池搭載の交流無停電 電源装置 (UPS) を発売

産業用リチウムイオン電池「LIMシリーズ」を搭載した交流無停電電源装置(UPS)を業界で初めて開発、平成16年3月より発売しました。

従来の鉛蓄電池搭載品比で容積、質量を70~80%削減し、大

幅な小型・軽量化を実現。保護機能を内蔵して十分な安全性を確保するほか、メンテナンスフリーで蓄電池の電圧や温度を常時監視しています。



GSセラミックメタルハ ライドランプ「エコセラ」 をシリーズ化した「エコ セラII」を発売

平成16年2月にGSセラミックメタルハライドランプの新シリーズ「エコセラII」を発売しました。

世界で初めて150WL形ランプの開発に成功。360WL形までの中ワットクラスをシリーズ化したことで幅広い用途に対応できます。

また、店舗照明用に暖かみのある電球色タイプを追加したほか、230W以上のランプでは従来品や水銀灯の寿命を上回る15,000時間を達成しています。



コードレス作業灯 「パワーライト プロII」 を発売

平成16年2月、コードレス作業灯「パワーライト プロ」の使用性能と利便性を大幅に改善した「パワーライト プロII」を発売しました。最大3,100ルクスの照度で明る

い作業環境を実現。また省エネモードの搭載で当社従来品の約1.6倍の約130分連続点灯できるほか、ロータリーフックの採用で照射面の360度回転・固定が可能となりました。



株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション

当社と(株)ユアサ コーポレーションは、平成16年4月1日に、株式移転により共同で持株会社「(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション」を設立し、同日付で当社および(株)ユアサ コーポレーションはその完全子会社となっております。

1. (株)ジーエス・ユアサ コーポレーションの概要

- | | |
|-------------|--|
| (1) 事業内容 | 傘下のグループ会社全体の経営戦略を策定・統括し、グループの企業価値の最大化を図る。 |
| (2) 本店所在地 | 京都市下京区四条通東洞院東入ル立売西町60番地 |
| (3) 役員 | 代表取締役会長 村上 農一郎
代表取締役社長 大坪 愛雄
代表取締役副社長 田村 均
代表取締役副社長 木村 幸雄
専務取締役 野塔 毅
専務取締役 上田 温之
専務取締役 秋山 寛
常務取締役 依田 誠
常務取締役 中村 正昭
常務取締役 前野 秀行
監査役(常勤) 矢野 正直
監査役(常勤) 楠山 俊輔
監査役(常勤) 端 達夫
監査役 藤 井 勲 |
| (4) 従業員数 | 約300名 |
| (5) 資本金 | 150億円 |
| (6) 発行済株式総数 | 355,539,621株 |
| (7) 決算期 | 3月31日 |

2. ジーエス・ユアサ グループが目指すもの

- | | |
|------------|--|
| (1) 経営理念 | 革新と成長 |
| (2) 経営ビジョン | 顧客価値の創造による企業価値の向上 |
| (3) 目標と戦略 | ①2007年3月期 業績目標(連結)
売上高 2,600億円、営業利益 130億円
経常利益 120億円
②戦略
国内では徹底した経営効率化を図るとともに、新たなビジネスモデルを構築し、また海外では事業を拡大させることにより、収益を大幅に改善する。同時に、次世代を担う人材の育成や次世代技術開発に積極投資し、世界最高水準の製品を供給し、成長を図る。 |

3. (株)ジーエス・ユアサ コーポレーション傘下のグループ会社

(株)ジーエス・ユアサ コーポレーションの完全子会社となった当社および(株)ユアサ コーポレーションについて、両社の子会社を含め、会社分割により機能別に再編いたしました。(平成16年6月1日付)

(株)ジーエス・ユアサ コーポレーション

(株)ジーエス・ユアサ マニュファクチュアリング

産業用電池・自動車用電池・大型リチウムイオン電池の製造、海外生産拠点支援、新車用自動車電池販売、電気車用電池販売

(株)ジーエス・ユアサ バッテリー

補修用自動車電池、自動車関連商品の販売

(株)ジーエス・ユアサ パワーサプライ

産業用電池、大型リチウムイオン電池、電源システム、受配電システムの製造・販売

(株)ジーエス・ユアサ テクノロジー

その他電池の製造・販売

(株)ジーエス・ユアサ パワーエレクトロニクス

汎用電源の製造・販売

(株)ジーエス・ユアサ インターナショナル

輸出入業務、海外事業管理

(株)ジーエス・ユアサ ビジネスサポート

事務サービス事業

(株)ジーエス・ユアサ インフォメーション

情報システム事業

(株)ジーエス・ユアサ アカウンティングサービス

経理事務サービス事業

(株)ユアサ コーポレーション

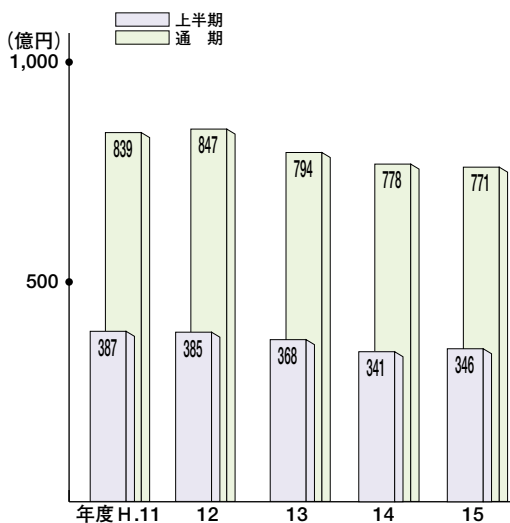
再編されない部門

日本電池(株)

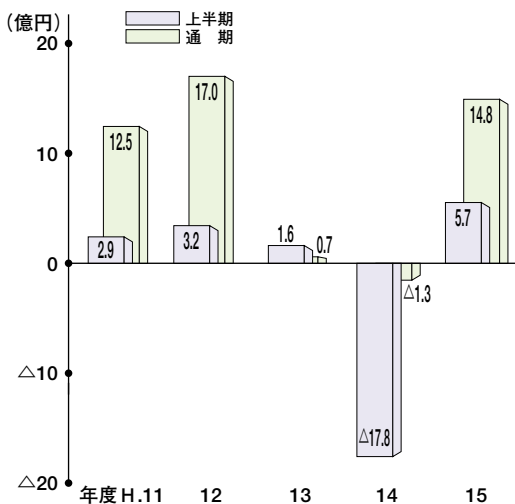
照明機器カンパニー、特機カンパニーその他再編されない部門

単独決算の推移

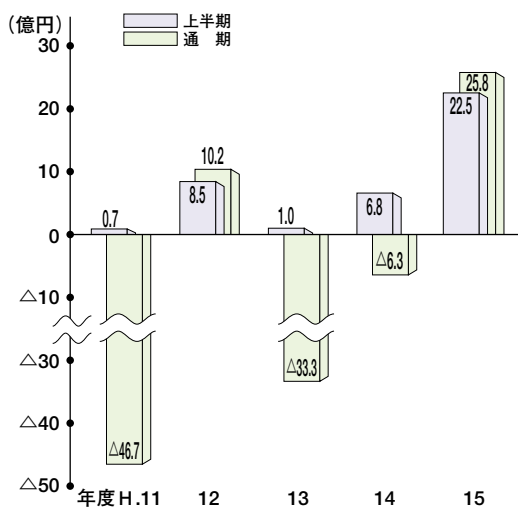
売上高



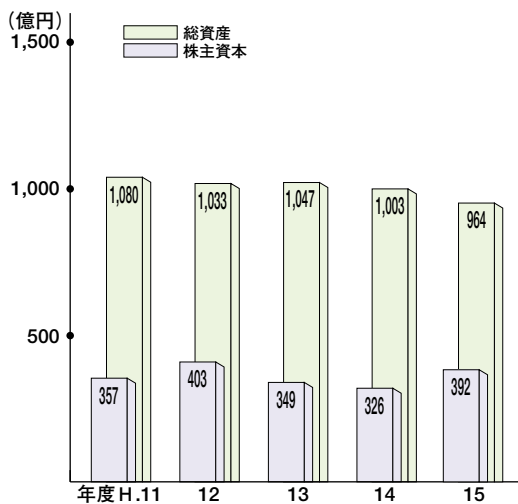
経常利益



当期純利益



総資産・株主資本



単独貸借対照表

平成16年3月31日現在

(単位：百万円)

資 産 の 部		負債及び資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(96,442)	(負債の部)	(57,158)
流動資産	39,382	流動負債	40,674
現金及び預金	1,941	支払手形	4,340
受取手形	2,500	買掛金	4,873
売掛金	20,891	短期借入金	7,210
製品・商品	4,529	コマーシャルペーパー	8,000
半製品	292	1年以内償還予定の社債	5,000
仕掛品	3,116	1年以内返済予定の長期借入金	2,045
原材料・貯蔵品	1,625	未払金	6,552
繰延税金資産	815	未払費用	2,109
未収入金	2,649	未払法人税等	216
短期貸付金	400	前受金	42
有償支給材料代	289	その他	285
その他	367	固定負債	16,484
貸倒引当金	△ 37	社債	5,000
固定資産	57,060	長期借入金	7,037
有形固定資産	21,712	長期未払金	160
建物	9,041	退職給付引当金	1,099
構築物	760	役員退職慰労引当金	533
機械装置	7,982	長期預り金	2,654
車両運搬具	23		
工具器具備品	931	(資本の部)	(39,284)
土地	2,338	資本金	14,353
建設仮勘定	634	資本剰余金	13,249
無形固定資産	353	資本準備金	13,249
特許権	147	利益剰余金	6,402
ソフトウェア	193	任意積立金	2,577
その他	11	固定資産圧縮積立金	77
投資その他の資産	34,995	別途積立金	2,500
投資有価証券	21,494	当期末処分利益	3,825
子会社株式・出資金	11,340	その他有価証券評価差額金	5,779
長期前払年金費用	903	自己株式	△ 500
繰延税金資産	429		
その他	1,629		
貸倒引当金	△ 802		
資産合計	96,442	負債及び資本合計	96,442

(注) 1.有形固定資産の減価償却累計額

46,350百万円

2.1株当り当期純利益

14円49銭

3.消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

単独損益計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位：百万円)

科		目	金額	
経常 損益の部	営業 損益の部	営業収益		77,184
		売上高		
		営業費用	60,114	
		売上原価 販売費及び一般管理費	14,880	74,994
		営業利益		2,189
	営業外 損益の部	営業外収益		
		受取利息及び配当金	586	
		投資有価証券売却益	350	
		その他の他	44	980
		営業外費用		
	支払利息	640		
	その他の他	1,047	1,688	
	経常利益		1,481	
特別 損益の部	特別利益			
	固定資産売却益	4,415		
	貸倒引当金戻入益	6	4,421	
	特別損失			
	固定資産除却損	318		
	経営統合準備費用	380		
	子会社出資金評価損 投資有価証券評価損	553 99	1,351	
税引前当期純利益			4,551	
法人税、住民税及び事業税			354	
法人税等調整額			1,612	
当期純利益			2,585	
前期繰越利益			1,240	
当期末処分利益			3,825	

〔単独貸借対照表、単独損益計算書とも金額については百万円未満を切り捨てて表示している。〕

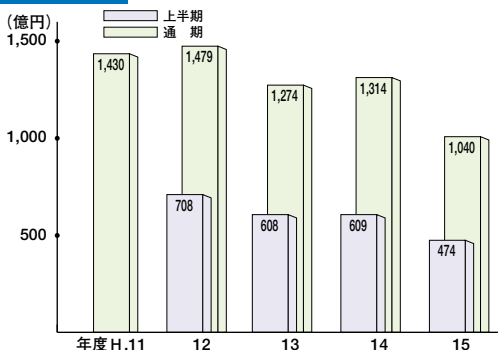
利益処分

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	3,825,271,679 ^円
固定資産圧縮積立金取崩額	1,912,924
合 計	3,827,184,603
これを次の通り処分します。	
株 主 配 当 金 (1株につき4円00銭)	707,868,572
役 員 賞 与 金 (うち、監査役賞与金)	20,000,000 (3,100,000)
次 期 繰 越 利 益	3,099,316,031

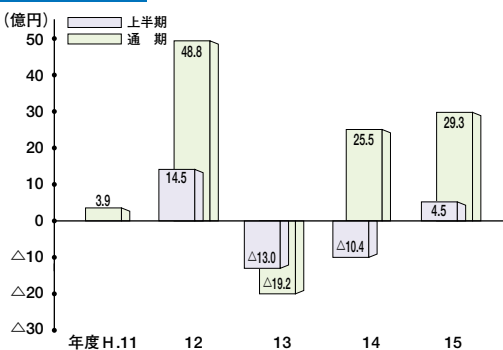
(注)平成15年度の中間配当は行っていない。

連結決算の推移

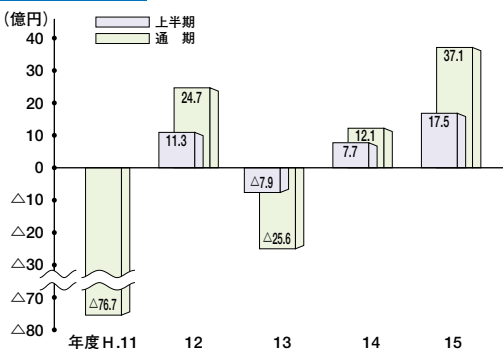
連結売上高



連結経常利益



連結当期純利益



[平成12年度より中間連結決算を実施しております。]

連結貸借対照表

平成16年3月31日現在

(単位：百万円)

資 産 の 部		負債、少数株主持分及び資本の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	(119,420)	(負債の部)	(79,162)
流動資産	57,293	流動負債	57,577
現金及び預金	4,417	支払手形及び買掛金	12,351
受取手形及び売掛金	31,858	短期借入金	21,655
たな卸資産	14,683	コマーシャルペーパー	8,015
繰延税金資産	1,269	1年以内償還予定社債	5,000
その他	5,218	未払金及び未払費用	9,330
貸倒引当金	△ 155	未払法人税等	642
固定資産	62,127	繰延税金負債	0
有形固定資産	35,884	その他	581
建物及び構築物	13,620	固定負債	21,585
機械装置及び運搬具	11,389	社 債	5,000
土 地	8,493	長期借入金	7,468
建設仮勘定	649	繰延税金負債	2,449
その他	1,730	退職給付引当金	2,497
無形固定資産	446	役員退職慰労引当金	615
連結調整勘定	4	その他	3,553
その他	441	(少数株主持分)	(1,779)
投資その他資産	25,795	少数株主持分	1,779
投資有価証券	22,797	(資本の部)	(38,478)
長期前払年金費用	903	資本金	14,353
繰延税金資産	377	資本剰余金	13,249
その他	2,622	利益剰余金	8,597
貸倒引当金	△ 904	その他有価証券評価差額金	5,834
		為替換算調整勘定	△ 3,055
		自己株式	△ 500
資産合計	119,420	負債、少数株主持分及び資本合計	119,420

連結損益計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位：百万円)

科 目	金 額	
売上高		104,071
売上原価		78,045
売上総利益		26,025
販売費及び一般管理費		23,140
営業利益		2,884
営業外収益		
受取利息及び配当金	172	
持分法による投資利益	849	
投資有価証券売却益	350	
その他	411	1,783
営業外費用		
支払利息	832	
その他	898	1,731
経常利益		2,936
特別利益		
固定資産売却益	4,477	
その他	97	4,574
特別損失		
固定資産売却損	81	
固定資産除却損	338	
投資有価証券評価損	99	
経営統合準備費用	380	
その他	364	1,264
税金等調整前当期純利益		6,247
法人税、住民税及び事業税	920	
法人税等調整額	1,595	2,515
少数株主利益		21
当期純利益		3,710

〔連結貸借対照表、連結損益計算書とも金額については百万円未満を切り捨てて表示している。〕

連結キャッシュ・フロー計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,047
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,810
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,712
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 126
現金及び現金同等物の増減額	1,018
現金及び現金同等物の期首残高	3,192
現金及び現金同等物の期末残高	4,210

連結剰余金計算書

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで

(単位：百万円)

科 目	金 額	
(資 本 剰 余 金 の 部)		
資本剰余金期首残高		13,249
資本剰余金期末残高		13,249
(利 益 剰 余 金 の 部)		
利益剰余金期首残高		4,887
利益剰余金増加高		
当期純利益	3,710	3,710
利益剰余金期末残高		8,597

〔 連結キャッシュ・フロー計算書、連結剰余金計算書とも金額については百万円未満を切り捨てて表示している。 〕

役員

平成16年3月31日現在

取締役および監査役

代表取締役 会長	田中千秋	常務取締役	前野秀行
代表取締役 社長	村上晨一郎	取締役	小野勝行
代表取締役 専務取締役	田村均	取締役	清水正
常務取締役	山地正矩	常任監査役(常勤)	島津光一
常務取締役	斉藤貴民	監査役	野村利義
常務取締役	上田温之	監査役	藤井勲
常務取締役	依田誠	監査役	渡邊晋

執行役員

上席執行役員	大谷雅一	執行役員	田村昭
上席執行役員	楠山俊輔	執行役員	井上直行
上席執行役員	大隅厚啓	執行役員	野田幹雄

主要営業品目

平成16年3月31日現在

鉛蓄電池	自動車用・バイク用・電気自動車用・電動車両用・産業用鉛電池、小型鉛電池
その他電池	アルカリ電池、リチウムイオン電池、特殊電池
電源装置	充電器・受変電設備・その他各種電源装置
照明器	HID光源(水銀ランプ・高圧ナトリウムランプ・メタルハライドランプ)、各種照明器具、UVS(紫外線照射装置)、DUV(遠紫外線応用光源装置)
その他	電源応用機器、電極応用機器、電動機器

会社の概要

社名	日本電池株式会社 (Japan Storage Battery Co.,Ltd.)
創業	明治28年
会社設立	大正6年1月17日
資本金	14,353,144,222円(平成16年3月31日現在)
従業員数	1,663名(平成16年3月31日現在)
ホームページアドレス	http://www.nippondenchi.co.jp

事業所

平成16年3月31日現在

本社	〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 ☎(075) 312-1211
東京支社	〒105-0003 東京都港区西新橋1丁目8番1号 ☎(03) 3502-6511
関西支店	〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目2番2号(近鉄堂島ビル) ☎(06) 6344-1641
中部支店	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目10番27号(第2豊田ビル西館) ☎(052) 584-7511
九州支店	〒810-0001 福岡市中央区天神2丁目12番1号(天神ビル) ☎(092) 721-3301
北海道支店	〒060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目1番地(北海道ビルヂング) ☎(011) 231-1870
東北支店	〒980-0021 仙台市青葉区中央2丁目2番1号(仙台三菱ビル) ☎(022) 262-4040
中国支店	〒730-0016 広島市中区鞆町13番11号(明治生命広島鞆町ビル) ☎(082) 222-8822
四国営業所	〒761-8014 香川県高松市香西南町471番地 ☎(087) 882-7818
千葉営業所	〒261-0002 千葉市美浜区新港115番地 ☎(043) 301-0280
岡山営業所	〒700-0956 岡山市当新田369番地の7 ☎(086) 246-6606
神奈川営業所	〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2丁目13番4号 ☎(045) 450-3535
本社工場	〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町1番地 ☎(075) 312-1211
群馬工場	〒370-0111 群馬県佐波郡境町大字上矢島671番地 ☎(0270) 76-3411
海外事務所	米国駐在事務所(アトランタ) 欧州駐在事務所(アムステルダム)

貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.nippondenchi.co.jp/kessan/>